

# 『一生懸命』幻の新座市議会報告第176弾!



たかむらともや

## 9月議会

9月議会がスタートしました。議会初日の僕の記事にはこう書いてあります。

”全員協議会。9時40分…全員協議会がはじまった。1番目の議題、保健センターと歴史民俗資料館の移転に関して、ちょっと揉めたのだが…。なにより恐ろしい…と、思ったのは「マイナンバーカードを活用した自治体ポイントによる消費活性化策について」という2番目の議題。そもそも、消費税を引き上げておいて、消費の活性化策はないだろう。マイナンバーカードの普及率が低いからと、マイナンバーにポイントつけてやるから、スマホかマイナンバーカードそのものを持ち歩いてね…というものだ。

自治体ポイントは1ポイント1円というが、前もって1000円分購入すると100円分プレミアムが付くという例のパターン。その財源は国が持つというが、元は税金。それも一時的なものらしく…怪しい限りである。

そもそも、消費財増税で消費に大ブレーキをかけた張本人が、アクセルをふかして、消費が冷え込まないようにしようとしている？最初から、消費にブレーキをかけてどうするんだ！って話である。”

スマホにせよ、マイナンバーカードにせよ、自分の個人情報を持ち歩かなくてはいけない訳で、紛失でもしようなものなら、どれだけのデータを悪用されるか想像もつきません。消費税増税で中小企業が消費税分を肩代わりする話は有名ですが、これから消費税を増税すれば、それに比例して中小零細企業の倒産件数も増えていくでしょう。

日本はもう20年も実質賃金が下がり続けているデフレ状態です。1997年を100とした主要先進諸国の実質賃金指数は次の通りです。(対2016年比)

スウェーデン138.4、オーストラリア138.8、フランス126.4、イギリス125.3、デンマーク123.4、ドイツ116.3、アメリカ115.3、日本89.7。(オイオイ!)

政府が財政出動せず、緊縮財政に拘り続けた結果がこれです。10月には公共料金の値上げも公表されていて、家計への負担増は必至です。アベノミクスは日本国民をとてつもなく貧しくした政策だったのです。

2019年8月31日発行



母は黒目川の桜が大好きでした。黒目川の流れ黒目川の匂い、黒目川の音、黒目川の動植物たちが大好きでした。92歳の頃の母の笑顔です。

## たかやんのプロフィール



1954年、港区青山生まれ。

本名 たかむらともや

新宿区立西戸山小中学校卒。都立石神井高から北大に進み大学3年の冬、突然「教師」を目指す。昭和52年4月新設校新座五中に赴任。五中・六中・

二中で21年間担任を続け、年間240号以上の学級通信「一生懸命」を書き続ける。その続編がこの幻の議会報告『一生懸命』である。

現在石神3丁目の「たかやん塾」で中高生達と”個別対応””集団対応”の塾をやりながら、月に一度の黒目川の川掃除と7か所での駅立ちに燃えている。好きな言葉は「継続は力なり」「経世済民」

好きな政治家はホセ・ムヒカ、バーニー・サンダース 田中角栄、翁長雄志、山本太郎。好きな女優は新垣結衣、綾瀬はるか、ハン・ヒョジュ、カン・ソラ。

会いたい人は山本太郎、前川喜平、工藤勇一。写真は五中4期生の久美子。母さんのことを「お袋さん」と呼び、何度もお見舞いに来てくれました。

この日も母さんにお線香をあげにきてくれて、沢山話して行きました。久美子も久美子の娘も息子も「たかやん塾」の可愛い教え子です。

たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737  
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

## ③ 玉ねぎ男の陰で・・・

米中の貿易戦争で、中国が米国をWTOに提訴したのは、2018年9月に続いて2度目。トランプ大統領にとって、貿易戦争は大統領選挙で再戦を果たすための手段であり、そのツケを払うのが日本という構図になっています。そして、その制度化が日米のFTAという不平等条約の締結なのです。

現に中国向けのトウモロコシが日本で処分されようとしています。日本の飼料用輸入の3か月分、300万トン近くものトウモロコシの追加輸入は異常としかいいようがありません。トウモロコシの次は大豆です。日本はアメリカの農産物の「廃棄場」となりつつあるのです。日米FTAとなったら、それが日常化するという事です。食糧自給率が37%と先進諸国で最低となった日本の農業ですが、それにさらに追い打ちをかけるのが日米FTAです。

日米FTAを隠す為に「玉ねぎ男」を異常に取り上げている日本のメディア。そして、異常なほどに韓国という国を批判する人達はなんなんでしょう。

その陰で日米FTA交渉は確実に進展し、9月下旬に締結される予定なのだから恐ろしい。安倍晋三お得意の「ステルス作戦」です。米韓FTAの悲劇を日本もまた繰り返すとしたら、韓国を笑うことなど出来ません・・・。

自民党という政党は「保守政党」ではありません。「保守政党」が「種子法」を廃止し「移民」を受け入れる訳がないのです。

日本の農業を破壊し、「消費税」で日本経済をぶっ壊し、日本国民の生活を貧しくしてきた政党、それが今の自民党ですから、保守でも何でも無い。

前環境大臣は放射性トリチウムを含む汚染水を「太平洋に流して希釈すべき」とアホ発言しました。自分達が国会議員でいることが「目的」である彼らには、国民の生命を守るという大問題、そして「日本という国への信頼を揺るがすような問題」に本気で取り組む気は全くないのです。

勿論、そんな彼らには他の国の政府を批判する資格などありません。そして、千葉県を襲っている停電の復旧に全く対応できてない東電の体質も国と同様問題です。台風の停電にさえ対応できない国と会社に「原発事故」の対応は勿論無理。そして「原発の運転」も出来る訳がないのです。

## ③ 母のいない世界



母が亡くなり2か月が過ぎました。生まれて初めて母のいない世界を生きています。

慌ただしい時間が過ぎていく中で、母の笑顔や声がいつも自分の傍にいることに気がつきました。

「母さん、おはよう！」「父さんもおはよう！」「兄貴もおはよう！」我が家の小さな仏壇には、母さんと父さん、そして岳兄がいます。母さんのお陰で父さんや兄貴にも挨拶をする回数が増えました。

どうやら、父さんも母さんも兄も僕の心の中で生きていてくれるようです。

写真は長女の雪です。小さい頃は親のせいで、苦勞をさせましたが、父さんや母さん、そして岳兄も僕と一緒に雪を応援してくれると思うのです。

## ③ 脳を騙す・・・

この数か月、アルコールを殆ど口にしていません。ここに並んでいるビールも全てノンアルコールです。脳がアルコールと勘違いするのは、運転は出来るし、勉強もできるし、血糖値も下がるのでいいことだらけです。昼間から一緒に飲んでくれているのは弟の紀です。この日は母さんの前で弟と20本以上飲みました。それにしても飲みすぎ・・・？



読み終わりましたら、お知り合いの方にさしあげてください m ( \_ \_ ) m